

第55回大曲仙北中学校田沢湖一周駅伝競走大会 第30回大曲仙北中学校田沢湖女子駅伝競走大会

学年1位でゴールした角館Aの選手。



8月28日、田沢湖畔で「第55回大曲仙北中学校田沢湖一周駅伝競走大会」および「第30回大曲仙北中学校田沢湖女子駅伝競走大会」が行われ、男子15校22チーム、女子12校18チームが出場しました。

男子（6区間14・9km）は角館Aが48分37秒で優勝、神代が50分40秒で第4位になりました。女子（5区間10・1km）は美郷Aが36分32秒で優勝、角館Aが37分12秒で第2位になりました。

市内中学校の成績は次のとおりです。

【男子】1位 角館A / 4位 神代 / 8位 角館B / 17位 西明寺 / 18位 生保内A / 22位 生保内B

【女子】2位 角館A / 6位 角館B / 10位 生保内 / 16位 西明寺

また、優等賞の中から最高賞を決める選考会では、相馬勲さんが出品した「こまくさ103号」が最高賞である農林水産大臣賞と、秋田県知事賞を受賞し、(株)チクテックさんが出品した「はあちゃん号」が東北農政局長賞を受賞しました。

成績は次のとおりです（敬称略）。

第1部 肉用牛

▼第1類（育成雌）2等賞2席におう530号 相馬勲（角館町） ▼第2類（若雌の1）2等賞4席こまくさ117号 小原洋一（田沢湖） ▼第5類（成雌の1）優等賞1席・東北農政局長賞はあちゃん号（株）チクテック（田沢湖） ▼第6類（成雌の2）優等賞1席・農林水産大臣賞・秋田県知事賞こまくさ103号 相馬勲（角館町）



8月24日にあきた総合家畜市場で「第100回秋田県畜産共進会」が開催されました。市内からは、角館町白岩の相馬勲さんが第6類（成雌の2）の部に出品した「こまくさ103号」と、田沢湖生保内の（株）チクテックさんが第5類（成雌の1）の部に出品した「はあちゃん号」の2頭の出品牛が各区分で優等賞を受賞しました。

第100回秋田県畜産共進会で最高賞を受賞

栄光・表彰 ~輝くとき



各分野で活躍された皆さまをご紹介します



（敬称略）



第23回秋田県小学生秋季ソフトテニス大会



- ▶男子6年生の部 優勝 武藤小太郎（神代小学校6年）
- ▶同5年生の部 3位 高橋颯太・西宮隆生ペア（西明寺小学校5年）
- ▶同4年生以下の部 3位 江橋樹（西明寺小学校4年）
- ▶女子6年生の部 2位 江橋楓（西明寺小学校6年）

8月17日に開催された同大会で、仙北市ソフトテニスジュニアから5人が入賞し、10月12日に福島県で開催される東北大会出場の内切符を手にしました。

写真左から江橋楓さん、江橋樹さん、武藤小太郎さん、西宮隆生さん、高橋颯太さん。



ECCジュニア 中学生英語暗誦（あんしょう）大会 秋田県大会



- ▶優勝 高橋慈
- ▶準優勝 石郷岡夏音

9月7日に行われた同大会で、ECCジュニア武家屋敷通り教室の生徒2人が受賞しました。県大会優勝者は、全国大会へと続く2次審査から挑戦することができます。

昨年、全国大会に出場した高橋さんは、今年も連続出場を目指します。



第74回秋田県中学校総合体育大会・第48回東北中学校柔道大会



- 【第74回秋田県中学校総合体育大会】
- ▶柔道 男子個人90kg級 3位 斎藤輝愛（角館中）
 - ▶男子低学年4×100mリレー 4位 角館中学校（藤元颯汰、藤枝諒、藤川湊、叶陽色、飯島新太）

- 【第48回東北中学校柔道大会】
- ▶柔道 女子個人57kg級 1位 佐藤伊咲季（神代中）
 - ▶同70kg超級 5位 黒澤葵（角館中）

角館・神代中学校の生徒がこの夏、全県総体・東北大会で好成績を収めました。



（百寿）おめでとうございます

佐藤直子さん

8月15日、佐藤直子さん（角館町白岩）が100歳の誕生日を迎えられ、仙北市からお祝いが贈られました。



角館こども園の小若曳山が、元気に神明社へ向かいます。

角館祭りの心

ユネスコ無形文化遺産

400年以上続く伝統行事



返し、決裂すると実力で通る本番のやまぶつけが行われました。山車の先頭部を持ち上げ斜めになった曳山同士が豪快に衝突すると、曳山を曳く若者はかりでなく、見物する人も魅了する雰囲気になりました。

9月7日から9日、「山・鉦・屋台行事」の1つとして、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「角館祭りのやま行事（角館のお祭り）」が行われました。
7日は、各丁内から武者人形や歌舞伎人形をのせた18台の曳山が角館總鎮守神明社を目指して出発。全曳山が神明社前に並び参拝する風景は圧巻です。
8日には、御座所にて佐竹北家当主に各丁内のおやま囃子と艶やかな手踊りを上覧。合わせておやま囃子コンクールも行われました。
また、角館こども園の園児による小若曳山も神明社を目指し運行。「オイサー」の元気な声が町中に響きました。
午後3時から、町内8か所で観光用のやまぶつけが行われ、その勇壮さに詰めかけた大勢の観光客も歓声を上げて見入っていました。また、夕暮れになると、各曳山は薬師堂へ参拝しました。
最終日の9日は、曳山同士が道で出会うと、通行の優先権をめぐる交渉を繰り返す。



おやま囃子コンクール結果



9日に角館祭りのやま行事実行委員会本部前で実施した表彰式の様子。

9月8日、佐竹北家上覧時に各丁内の曳山が一堂に会し、おやま囃子コンクールが開催されました。

厳正な審査の結果、次の方々が各賞を受賞されました。(敬称略)

【囃子部門】▼秋田県知事賞 西部若者 秋月会 代表 藤原勇悦 ▼仙北市長賞 七日町丁内 わらび座 代表 小沢剛 ▼角館のお祭り保存会長賞 中央通り 奏雅扇舞会 代表 藤井哲也 ▼田沢湖・角館観光協会会長賞 西勝楽町若者 秋月会 代表 古郡力 ▼仙北市商工会会長賞 東部若者 角館おやまばやし 櫻義芸 代表 高橋透

【手踊り部門】▼秋田県知事賞 西部若者 藤美会 代表 藤原ミサ子 ▼仙北市長賞 本町通り 高橋キヌ子 社中 代表 佐藤かおり ▼角館のお祭り保存会長賞 七日町丁内 藤美会 代表 藤原ミサ子 ▼田沢湖・角館観光協会会長賞 西勝楽町若者 藤美会 代表 藤原ミサ子 ▼仙北市商工会会長賞 東部若者 渡部幸子 社中 代表 渡部幸子

仙北市戦没者追悼式



8月27日、仙北市民会館で仙北市戦没者追悼式が行われ、仙北市遺族連合会会長をはじめ、市長、市議会議員、遺族の方々などが参列しました。
式典では、開会の辞に続き、黙祷、追悼のことば、来賓あいさつが行われ、参列者による献花がしめやかに執り行われました。会場は静粛な雰囲気にも包まれ、参列者は戦没者に哀悼の意を捧げるとともに、平和への思いを新たにしました。

新しい民生委員・児童委員を紹介します

令和7年7月23日付けで、厚生労働大臣から委嘱状が交付されました。
地域福祉の向上のため活動する民生委員・児童委員を紹介します。お気軽に、ご相談ください。



西木(高屋、畑中、山口)地区担当
浅利美智子 さん
☎ 48-2288

市制20周年記念事業

明治大学応援団成果発表会

明治大学応援団は8月30日から9月8日、田沢湖スポーツセンターで夏合宿を行い、6日には仙北市民会館で成果発表会を開催しました。

会場には多くの市民が来場し、温かな声援の中、吹奏楽部、バトン・チアリーディング部、応援指導班がそれぞれ舞台上立ち、練習の成果を堂々と披露しました。吹奏楽部は大音量で迫力あるハーモニーを響かせ、バトン・チアリーディング部はアクロバティックな技と息の合ったダンスで観客を魅了しました。応援指導班はキビキビとした動きと力強い発声で会場の熱気を高め、ステージ全体が一体感に包まれました。
最後は会場いっばいに拍手喝采が広がり、大盛況のうちに幕を閉じました。



(画像右) バトン・チアリーディング部の練習風景。(画像左) ダナミックな技と息の合ったパフォーマンスを披露。



応援指導班が力強く校旗を掲げる。

茨城県常陸太田市

市民交流団訪問



角館祭りのやま行事開催期間の9月8日と9日の2日間、有縁友好交流都市である茨城県常陸太田市の藤田市長および市民交流団37人が仙北市を訪れました。武家屋敷通りを散策し、角館祭りのやま行事では、佐竹北家上覧や、やまぶっつけの見学をしたほか、田沢湖クニマス未来館の見学や田沢湖遊覧船を楽しみました。3年ぶりの訪問となり仙北市の魅力を堪能してました。



田沢湖地方猟友会 クレー射撃大会

8月14日、田沢湖地方猟友会の有害駆除等安全と技術向上の一環として、クレー射撃大会が開催され、18人が出場しました。

大会の結果は次のとおりです。
(敬称略・15枚×2ラウンド)

- ▶優勝 佐々木徹 26点
- ▶準優勝 田口和広 22点
- ▶第3位 羽川正樹 19点



写真左から真崎会長、羽川さん、佐々木さん、田口さん。

第5回角館猟友会 クレー射撃大会

7月20日、田沢湖クレー射撃場で令和7年度第5回角館猟友会クレー射撃大会が開催されました。

大会の結果は次のとおりです。
(敬称略・1ラウンド25個撃ち)

- ▶優勝 荒木博 21点
- ▶準優勝 菅原清一 20点
- ▶第3位 鈴木治 19点
- ▶第4位 笹淵誠 19点
- ▶第5位 伊澤芳郎 18点
- ▶ブービー賞 後藤国男



写真左から角館猟友会会長の笹淵さん、後藤さん、荒木さん、原さん、鈴木さん、伊澤さん。

一般財団法人 角館感恩講 「子ども食堂」へかき氷機などを寄贈

子育て支援事業として、子どもの孤食への対応や居場所作りを主としている「子ども食堂（食彩舞桜）」へかき氷機などを寄贈しました。

7月25日に開催した「子ども食堂」では、自分たちで楽しみながらかき氷を作ったり、高校生が小学生のかき氷作りをサポートし、みんなでおいしく味わう姿が見られました。今年は特に暑さが厳しいなか、冷たいかき氷は大好評で、参加した子どもたちからは喜びの声が寄せられています。



倉橋大地さん メンズフィジーク選手権で2位に輝く

8月24日、宮城県の名取市文化会館で東北北海道メンズフィジーク選手権が開催されました。

この「メンズフィジーク」は海で似合う体がコンセプトの競技です。引き締まった体はもちろん、健康的で爽やかな雰囲気、清潔感、所作などを含めた全体のスタイルを競うもので、北海道と東北各県から4つのカテゴリーに約50人が出場しました。

この大会に出場した倉橋大地さん（田沢湖生保内）は、168cm以下級のカテゴリーで2位となりました。

昨年12月から、大仙市でパーソナルトレーニングジムを運営している倉橋さんは「健康寿命のカギは筋肉と言われている。トレーニングの正しいやり方や素晴らしさを伝えていくことで、地域の方々の健康促進に貢献していきたい」と話しました。



第2回 松木内川堤のソメイヨシノの 管理について

仙北市のみなさん、こんにちは。文化財課の技師で樹木医の板橋朋洋です。前回（広報8月号）は角館のサクラの歴史の概要を紹介しました。今回は国指定名勝「松木内川堤（サクラ）」のソメイヨシノについて紹介します。

まず、ソメイヨシノ（*Cerasus × yedoensis*・*Somei-yoshino*）という品種の桜について紹介します。ソメイヨシノは日本の桜を代表する品種で、北海道南部から九州に至る各地に植栽されています。この桜は江戸時代に起源があり、オオシマザクラとエドヒガンという桜を掛け合わせることで作り出された栽培品種とされています。成長が早く、豪華な花を咲かせることから、日本のお花見に欠かせない存在となりました。一方で、病気に弱く内側の木材が腐りやすいことから、約60年で寿命を迎えるといわれています。しかし、丁寧に管理することでこの寿命は伸ばすことができます。現存するソメイヨシノの中では、明治11〜13年の頃に植えられた、福島県が開成山公園のソメイヨシノが最高齢とされています※1。そのため、少なくとも150年くらいまでは手をかければ寿命を延長できそうです。もしほとんど手をかけなかった場合、どうやら樹齢40年くらいまでは普通にお花見ができます

が、それ以降に衰退していくことが多いようです。皆さんは庭などにソメイヨシノを植えていませんか？最近花が咲かなくなってきたりしていませんか？そんなソメイヨシノが植えられている松木内川堤ですが、令和7年現在で樹齢90年を超えているので、かなり高齢であることは間違いありません。ほとんどのソメイヨシノの幹が腐朽しており、このまま手をかけなければやがて衰退し、枯れていくでしょう。今年の春に角館中学校の生徒さんと協力して1本のソメイヨシノを調査したところ、幹断面の約50%が腐っていることがわかりました。文化財課では、その高齢のソメイヨシノの寿命を延ばすような管理に取り組んでいます。私の師匠にあたる先代の樹木医の黒坂登さん（元仙北市職員）は、リンゴの剪定技術を応用し積極的に桜を剪定する弘前公園の管理方法※2を学び、角館に導入しました。昔は「桜切る馬鹿」といったように、桜は剪定しないのが常識でしたが、今は少し変わっています。たしかに、剪定して傷口ができる、そこから菌が侵入して幹の内側が腐りやすいです。しかし、病気の枝や枯れ枝を放置することは桜のためになりません。また、ソメイヨシノは剪定することで、それに反応して新しい若い枝を出してくれま

す。松木内川堤のソメイヨシノも、これまで太い幹も思い切って剪定してきましたが、もしかしら、今の桜の姿をみて「痛々しい」「どうしてこんな切り方をするのか」と思う方がいるかもしれません。しかし、この思い切った剪定は、桜を遺すためであってそうしています。また、腐った幹を残していると倒木の危険性も高まります。樹木による事故を防ぐことも樹木医の仕事ですので、安全にお花見を楽しんでいただくためにも、今後も積極的に剪定してソメイヨシノを若返らせます。



図 ソメイヨシノの管理方法（イメージ図）
病気や枯れ枝、古い幹を剪定して新しい枝・幹を育てる



仙北市文化財課
樹木医 板橋朋洋

宮城県仙台市出身。
角館の桜の保存管理業務などを担当。

ながら桜に肥料をあげてきましたが、今年から秋の施肥も実施したいと思っています。参加してくださった方には、冬から春にかけて、剪定して発生する木材や、花芽の付いた枝、破碎したチップなどを無料でお渡します。花芽の付いた枝は水に差しておけば家でもお花見が楽しめます。ぜひ多くの方にご参加いただき、皆さんと一緒に地域の宝である角館のサクラを守りたいです。次回は広報12月号で角館のシダレザクラについて紹介いたします。

参考文献：

- ※1 三瓶保之（2018）「郡山市開成山公園内の高齢・染井吉野」に対する樹齢の検証」樹木医学研究 22：195-198。
- ※2 橋場真紀子（2024）「サクラの弘前公園」樹木医学研究 28：102-109。

